

## はじめに

### ●エコチル調査とは

正式名称は「子どもの健康と環境に関する全国調査」です



エコチル調査は、環境省が企画・立案し、コアセンター（国立環境研究所）、メディカルサポートセンター（国立成育医療研究センター）を中心として、全国15地域に拠点としてのユニットセンターを設置し、調査を進めています。

環境中の物質や生活習慣などと子どもの成長や健康にどのような関係があるかを調べる全国的な調査です。分析を含めると20年を超すこととなりますが、最終的に「生活環境にある化学物質が子どもの健康にどのような影響を与えているのか」を明らかにすることが目的です。

### ●エコチル調査ではなぜ環境中の物質を調べるのでしょうか

ここ50年の間に、科学や技術は急速に発展し、私たちの暮らしはとても便利になり、またこれに伴って、様々な化学物質が身近に増えてきました。こうした人間が作り出した物質が、私たちや子どもたちの健康に、どのような影響や関係があるのか、実はまだ詳しく解明されていないのです。



## ●なぜ赤ちゃんがおなかにいるときから調べるのでしょうか

ここ数年、ぜんそくや肥満、発達障害などの病気が、子どもたちに増加していると言われています。こういった事象から、子どもは成長段階にあり、身体ができあがっていないため、大人より化学物質の影響を受けやすいのではないかと考えられるからです。

赤ちゃんがお腹の中にいるとき、お母さんの体には、貴重な情報がたくさんつまっています。子どもの病気が明らかになってからでは、その情報の多くが失われてしまっているのです。

## ●研究成果は子どもたちや次世代の人のために役立ってます

病気の多くは、遺伝的な性質、生活習慣、環境中の物質などが関係あって起こります。これらの関係を明らかにすることができれば、病気の予防に役立つ政策を立てたり、子どもが健やかに育つための環境を整備したりすることができます。

子どもたちや次世代の人に健康で豊かな生活をおくってもらうために、今から対策を考え、問題があればそれを改善していかなくてはなりません。エコチル調査は、将来の人たちの健康づくりのために、たいへん大切な研究です。

